

子育て真っ最中の「あったらいいな」を
実現し続ける、ママたちが主役の企業

自分たちが楽しみながら

子育てをすることで

秋田の子育てを変えたい。



秋田市茨島に拠点を置く合同会社CHERISH。現在は子連れのママたちが憩う「チェリッシュカフェ」、小規模保育園「チェリッシュ保育園」、学童保育「チェリッシュスクール」の運営のほか、イベントの企画・運営、フリーペーパーの出版事業などを行っている。もともとは3人の子育て中のママが、平成24年に始めた活動が今に繋がっているという。代表を務める加藤未希さんに、設立の経緯や今後の事業展開についてお話を伺った。



合同会社 CHERISH
代表 加藤 未希

〒010-0065
秋田市茨島4丁目3-36
秋田アスレチッククラブ内
TEL: 070-5326-4059
<https://cherish-akita.com/>



HP

自身が感じた不安と孤独
ママ友に救われた経験

秋田市茨島にある総合スポーツクラブ「秋田アスレチッククラブ」(以下AAC)の建物内に、子育て世代が集う「チェリッシュカフェ」がある。未就学児を持つママたちにとって、子どもと一緒に安心して出掛けられる場所は貴重だ。この場所を作ったのは、自身も3人の子を育てている代表の加藤未希さん。22歳で結婚・出産を経験したが、同世代の多くはまだ独身で働いている時期。友人たちとは生活時間が違うため、同じ立場で相談し合える相手がいなかった。子育ての不安と世間との繋がりを失って感じる孤独。そんな中から加藤さんを救ってくれたのは、ママ友の存在だった。



①

「子育ての悩みや不安に共感してくれるママ友の存在にとっても救われ、自分だけではなく、他にも自分と同じように悩んでいるママがいるのではないかなと思うようになりました。そこで同じ思いを持つママ友と3人で平成24年に子育て支援団体・CHERISHを立ち上げました」。

子育て中の方々にとって
居心地の良い場所づくり

立ち上げ当初は公共施設の一室を借りて、母親の悩み相談や親子イベントなどを行っていたが、平成27年にはAACの一部に拠点を置き、子どもたちがゆったり遊べるスペースの提供のほか、ヨガ、マッサージなどの講座も始めた。

「小さい子ども連れでの外出がとても大変という経験から、平成28年には飲食店許可を得て、子連れでも気軽に足を運べるカフェを作りました。おもちゃやベビーチェアなども完備しているので、ゆったりと食事できることはもちろん、他のママとも交流ができます。最近はパパの利用も増えてきました」。

その後、子連れで働くスタッフも増え、運営の規模を拡大していく中で、子どもを連れながらの業務に限界を

①秋田アスレチッククラブ2階にあるチェリッシュカフェ。ママ向けの食事、お子様向けの食事のほか、ドリンクやスイーツのメニューも取りそろえている。

②スタッフが学校までお迎えに行き、習い事やお迎えの時間まで自由に過ごすことができる学童保育も魅力的。



②

感じたことから、平成29年に従業員の子どもの保育することも想定した小規模保育園の運営を行うことを決意。同年、「合同会社CHERISH」を設立し、保育園を開園した。

「あったらいいな」を実現
今後も事業を充実させたい

令和3年にはAAC内に「学童保育チェリッシュスクール」を設立。旭南小学校、日新小学校学区が対象だ。放課後の習い事の送迎や付き添いは、共働き家庭に多い悩みだが、こちらの学童では多くの子どもたちが同じ敷地内のAACへ、水泳や体操などの習い事に通っているという。働く親にとって大きなメリットだ。

「設立以来、ママ同士でアイデアを出して取り組んできたおかげで、多くのことが実現できました。子どもの成長に合わせて、新たなアイデアが生まれるので、まだまだ事業を増やしていけると思っています。最近スタッフの子どもが『将来はチェリッシュ保育園で働きたい』『フリーペーパーの編集をしたい』という夢を持ってくれるようになりました。次の世代にCHERISHを繋いで秋田で楽しく子育てができる環境を作りたいですね」。



令和元年に開催された
親子向けイベント「キッズフェス」の様子。



平成30年から刊行しているフリーペーパー
「子育て応援マガジンCHERISH」。



併設されたホールを使い毎月多彩なレッスンも開講。